

謹告

令和2年12月25日

東山開晴館

校長 山下 和美

保護者の皆様

新型コロナウイルス感染に関わるお知らせ 最終報

去る3日、本校の生徒が新型コロナウイルスに感染していることが確認され、部活動を休止し、ホームページ等で連絡させていただきました。ご不安な気持ちをお持ちでありながら、保護者・地域の皆様におかれましては、冷静かつ適切なお判断とご対応をいただき、衷心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。特に、医療や介護・保育等に從事されていらっしゃる方については、職務上、感染状況を詳細に知りたいところかと存じますが、HPに掲載させていただいたことがお出しできる情報のすべてであるご理解くださいませ。

さて、今回の件につきましては、24日に保健所の調査及び専門業者による校内消毒が終了しました。京都市の保健福祉部局及び教育委員会と協議し、今後の教育活動に影響は生じないことが確認されております。また、本校生徒1名が新型コロナウイルスに感染したことを踏まえ、必要な一部の生徒に受検いただきましたPCR検査の結果、**受検者全員の陰性が先ほど確認されました**。これにより、今回の件に関わるお知らせの最後とさせていただきます。

今月半ばより東山区で急速に感染が拡大し、とうとう本校からも感染者が出ました。誰が感染しても不思議ではない状況を迎えています。そして、コロナに対して無防備な生活を送っていない限り、誰からも非難されるものではありません。しかしながら、以前学校だよりも書きましたが、「コロナの三つの顔」に我々は直面しています。コロナを恐れるあまり、不安になって、コロナに関わる人を遠ざけるということです。陽性になった保護者の方が「子供が何か言われるのでは……」と心配されるのも、このことです。我々が今しなければならぬのは「コロナウイルスを持っている人から離れる」ことではなく、「**手洗いやマスクの新しいマナーを守り、近くにコロナウイルスがあることを想定した生活をする**」ことです。

心配のあまり、該当学年以外から多数の問い合わせが学校に来て、適切な対応をとることに支障があったということも聞いておりましたが、本校ではそのようなことも一切なく、とりあえず今回の件の収量がお伝えできることをうれしく思っています。冷静かつ適切な行動をとっていただける皆様に申し上げますのは、誠に失礼ではございますが、**インターネット、SNS、噂話など、PCR検査受検者や陽性者についての不確かな情報を広めることは、厳に慎んでいただきますよう、お願い申し上げます。**

こんな形で新しい差別が生まれることを予想もしておりませんでした。これが現実です。今後、最優先すべきことは、子どもたち、保護者の皆様の心身の健康と安全であると考えます。皆様の心の安心・人権を守っていくために、ご協力をお願いいたします。

なお、イベントの多い時期に入りましたが、行動には十分ご留意いただき、笑顔で新学期が迎えられますよう、重ねてお願い申し上げます。

濃厚接触者に指定された子どもたちは、2週間の自宅待機となりますが、晴れて全員で新学期が迎えられそうです。3学期からの教育活動につきまして、これまで以上に、感染拡大の防止、生徒の健康と安全を最優先に実施いたします。我々教職員も、学校が子どもにとって楽しく、安らぎの場であるよう、努めてまいります。引き続きお力添えのほど、よろしくお願いいたします。